

情報コーナー

ひたちとアジアの文化交流をすすめる会講演会開催決定！！

「多民族、多言語、他宗教のモザイク社会、マレーシア」

マレーシアは、様々な民族が隣り合わせで生活する多民族国家。お隣さんは服装、食文化、言葉も違います。色鮮やかなマレーシアの文化を紐解きます。後半は、影絵芝居ワヤンクリを中心にマレーシアの伝統芸能もご紹介します。

と き 5月20日(土)午後1時30分から午後2時45分

と ころ 日立シビックセンター 5階会議室 502号

入 場 料 無料(定員 90名)

お申込み 4月25日(火)午前10時から電話にて受付。下記事務局までお申込みください。

講 師 上原亜季(ムティアラ・アーツ・プロダクション代表)

【プロフィール】

AFS※生として一年間マレーシアの高校に留学。Universiti Sains Malaysia の大学院にてマレーシアの伝統芸能の研究を行い、修士号取得。国際文化会館勤務を経て、現職。東南アジア芸能コーディネーター、イベント企画・制作、記事執筆、マレー語通訳・翻訳。 <http://mutiara-arts-production.com>

※American Field Service(アメリカ野戦奉仕団)に由来する国際的なボランティア団体

主催:ひたちとアジアの文化交流をすすめる会、公益財団法人日立市民科学文化財団

関連団体のイベント・活動を紹介するコーナー(2017年4月~2017年10月) 一般参加可能は★印

主催	タイトル	日時	場所	問い合わせ先
フレンドリー あんず	外国人のための生け花クラブ	毎月1回 水曜日 10:00	教育プラザ	0294-21-4150(福地)
	日本語教室	毎週火曜日 19:00 金曜日 14:00	(火)女性センター (金)教育プラザ	0294-36-4542(半田) 0294-42-8176(金岡)
	ゴチャッペ市出店予定★	4月29日(祝)11:00~	塙山交流センター	0294-21-4150(福地)
	世界の暮らしを知ろう★ (ポーランド予定)	5月14日(日)11:30~	女性センター	
	あんずの夏祭り★	7月第2日曜予定	会瀬青少年センター	
国際交流 ボランティア ネットワークさくら	日本語教室	毎週木曜日 10:00 土曜日 10:00	(木)教育プラザ (土)女性センター	0294-34-6257(臼井)
カンボジア支援会	ふれあいの旅	7月6日~7月12日	カンボジア	090-4177-5393(菊池)

活動記録 (2017.1.1~3.31)

- ◆活動推進部会(定例会) ◆広報部会
- ◆記念事業ワーキングチーム打合わせ  
1/13、2/10、3/10
- <平成28年度会員152人>  
活動推進部会32人、ワーキングチーム12人

編集後記

幼稚園の息子の卒園式で“言葉を大切にしようね”と祝辞を賜った。私達は「ひたちとアジア」から、読む言葉を発信している。読者の方に、一字一字がどのように伝わっているのかを想像すると、夢が膨らむ。いつか私達と共に活動していただける日が来ることを・・・(松本記)

広報紙「ひたちとアジア」は日立シビックセンターホームページでもご覧になれます。<http://www.civic.jp>  
連絡・問い合わせ・感想・入会希望等は、日立シビックセンター内「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」事務局まで  
TEL 0294(24)7711 FAX 0294(24)7970 E-Mail [salon@civic.jp](mailto:salon@civic.jp)

# ひたちとアジア

第55号

2017年(平成29年)4月

発行:ひたちとアジアの文化交流をすすめる会 広報部会

## アジア料理サロン「韓国・キルギス」開催



韓国の国旗

### 茨城キリスト教大学の留学生が講師



キルギスの国旗

3月20日(月・祝)日立シビックセンター4階料理室において、アジア料理サロン「韓国・キルギス」が開催されました。

参加者はひたちとアジアの会員のほかに、市報の開催案内を見た方や、平成27年3月に行われた、茨城キリスト教大学留学生による「ベトナム料理」に参加してとてもよかったという方を含め男性6人・女性24人、計30人の参加がありました。

講師は今回も茨城キリスト教大学の留学生2人で、韓国人男性のウ・サングォンさんとキルギス人女性のワリブルス・ヤナさんです。それぞれのお国の家庭料理を計3品教えていただきました。

まず1品目は、キルギスの炒飯であるプロフから。この料理はキルギスでは男の人がよく作るそうで、ヤナさんによると「父がよくつくってくれていつもおいしい」とのこと。お祭りなどの時にも食べるそうです。2品目は炒飯に合わせてあっさりしたトマトと新玉ねぎのサラダです。いずれもわかりやすい説明と、手際のよいヤナさんの包丁と調理の手さばきに、参加のみなさんも感激していました。

ご飯を炊いている間に、3品目の韓国のトッポッキの調理をしました。とても辛くて韓国らしい味に仕上がったと思いましたが、韓国では今回作ったものより3倍も辛くするそうです。いずれも和気あいあいと楽しい調理となりました。

3品の料理が出来上がり、カンボジアのお茶と共に、皆でおいしくいただきました。食事後、日本文化を紹介する交流も持ちたいと、「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」の会員であり、この料理サロンにも参加した桑名靖生さんにより、日本伝統の北海道民謡

「江差追分(えさしおいわけ)」を、尺八の伴奏により唄ってもらいました。時折入る奥様のソイ掛けも素敵でした。

そして最後は、講師からパワーポイントによるキルギスと韓国のお国紹介をしていただきました。キルギスに関しては初めて知ることが多く、中央アジアのカザフスタンと中国との間に位置し、夏は結構暑いとか。公用語はロシア語だそうです。また、韓国については、教育制度の違いを中心にお話いただきました。

日本に来てサングォンさんは1年、ヤナさんは半年しか経っていないはずですが、お二人の流暢な日本語にびっくりでした。参加の皆さんからは、「日本の料理もいいが、外国のこのような料理だったらまた参加したい」「外国人の若い講師っていいね」などの意見が寄せられました。また、今回の料理サロン開催に当たっては、茨城キリスト教大学国際理解センターのご協力をいただきました。有難うございました。



## 文京区国際交流フェスタ 2017 へ行ってきました

文京シビックセンター(東京都文京区)において2月25日(土)に開催された「文京区国際交流フェスタ2017」を、ひたちとアジアの文化交流をすすめる会の会員3人と事務局1人で視察しました。文京シビックセンターは、地下4階、地上27階の大きな建物で、大・小のホール、区役所、議場、区民施設及び展望ラウンジ、レストラン、カフェなどの総合施設です。



会場風景

国際交流フェスタは、センター内の4フロアに、日本文化や外国文化の体験コーナーや様々な国の伝統音楽・文化を披露するステージのほか、展示や販売のブースが設けられていました。

体験コーナーで実施されていた外国文化の紹介はトルコ伝統芸術のみで、他は日本文化の体験がメインでした。どのブースも人気が高く、特に茶の湯や生け花、押し花はイベント終了前に予定数を終了するほどの賑わいでした。体験後に持ち帰りが可能な折り紙や押し花、書道は来場した記念に参加する人が多く見られました。

ステージパフォーマンスは、地下2階に特設ステージが組み立てられて行われていました。だれでも観覧ができ、建物内吹き抜け部分の最下部に位置しているの、地下2階の観覧席だけでなく他の階からも見ている方

が多く見られました。観覧席は飲食が可能で、前方に椅子のみ、後方に円形の机に椅子が並ぶような形で、自由に出入りができていました。ステージではそれぞれの団体や出演者が、自身で紹介と内容説明をして音楽やパフォーマンスを披露していました。

情報コーナーや物販コーナーは、地下2階のステージを囲うように設置され、目に付くような工夫がなされていて、多くの人が立ち止まっていました。また、

飲食物は、文京区内の店が作っている商品を持ち込む形で販売されていました。他には、アンケートに回答すると、おしゃれな箸や巾着などの景品と引き換えができるので、多くの人が回答する様子が見られました。また、国際交流サロンとして、さまざまな国の展示と休憩場が併設されていました。

今回国際交流フェスタを視察した感想としては、各ブースはひたち国際文化まつりと同じようであるが、ステージパフォーマンスを主にした構成は、当会でも参考にすると良い内容だと感じました。更に、体験コーナーでは気軽に体験して、自分で制作したものを記念に持ち帰ることができる企画が多く、来場者に楽しんでもらえるポイントではないかと思いつつ日立に戻ってきました。

### 「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」と、日立市内の国際交流関連団体との交流記録 2016年11月～

#### ◆ひたち国際文化まつりお礼訪問(日立市教育委員会・日立二高)

11/19 ひたち国際文化祭りでの市内中学生の英語による日立市紹介プレゼンテーションに対するお礼を目的に日立市教育委員会へ訪問。教育委員会指導課の川崎課長と当日中学生を引率された益子先生に対応いただきました。来年も是非参加したいとお言葉をいただき、参加については事務局と早めに調整を予定。なお、現在バーミングハムやタウランガへの研修旅行は予算の都合で実施しておらず、この研修報告はできないとのこと。

また、同日、各コーナーでのボランティアサポートに対するお礼を目的に日立二高を訪問。原田令子校長先生が対応してくださいました。当日引率された金氏先生は授業があり同席はかないませんでしたが、来年のボランティア参加と、毎年10人程度オーストラリアに研修旅行を実施しているとのこと、研修活動の報告実施についても伺いました。両方とも可能な限りご協力頂ける旨のお話を頂きました。

## カンボジア通信 第4シリーズ NO.2

元青年海外協力隊(理数科教師)・現在 農業プロジェクト調整員 浅水 伸介

浅水伸介さんは、茨城大学卒業後カンボジアに渡航し、教員養成校の理数科教師として活動し、現在は農業関係のプロジェクトに従事されています。

カンボジアは肥沃な土地と東南アジア最大の水源であるトンレサップ湖があるものの、灌漑設備が未整備の地域が大半を占めるため、昔から水の分配が大きな課題でした。『ポルポト水路』と呼ばれる、ポルポト時代※に整備された水路がありますが、強制労働の為に農村に強制移住させられた都市部の人たちによって掘られたものであるため、多くの水路が圃場よりも低い位置を流れていて、水が適切に分配されないといった技術的な問題が挙げられます。現在でも、新しい水路とポルポト水路を併用している地域が多く、水を圃場に揚げる対応をするにはポンプを回すしか方法が無く、燃料の出費がかかってしまっています。私がかつて活動していたバタンバンには、ポルポト水路の数少ない成功例がありますが、当時の中国が技術援助をしたとも言われています。

日本でも同じような例が無いとは言えないように、やはりカンボジアでも土地の有力者がいれば、その周辺しか灌漑や道路などの整備がなされない問題があります。それらの解決に向けて、弱い立場の人たちがグループを作って農業協同組合を設立し、組織強化に力を入れるようになってきました。ただ、農家の人たちにとって『農協』は、ポルポト時代の集団耕作や集団生活といった暗くて自由がないイメージが未だに強くあり、まだまだ農協数が国全体の農家数に比して少ないのが現実です。農協を設立するメリットとしては、農産物を取りまとめ、適切な価格設定をすることで仲介人にごまかされることなくります

し、肥料をまとめ買いするなど、トラックを共同利用した出荷事業を通して農家の負担軽減を見込める事ができるという点です。また、信用事業などを高い透明性を以って行う事で、お金の融通がスムーズにできるようになるなどの面もあり、現在、カンボジア国農林水産省農協振興局と一体になって取り組んでいるところです。

隣国タイでは、30年前に日本の農協関係プロジェクトで大々的な成功を収めており、農家が豊かになってきています。これはタイ人達が努力したからであり、カンボジアにおいてもライバルのタイに追いつけ、追い越せの勢いで躍進していただきたいと思います。



バタンバン州コンピンブイダム：ポルポト時代に建設された数少ない成功例で、今でも有効活用されています。

※ポルポト時代:1975年に前政権を倒し誕生したポルポト政権による恐怖政治の時代(～1979年)。知識人の処刑や強制労働により200万人以上が亡くなった。

#### ◆春節祭を祝う会に参加



(写真はモンゴル舞踊)

1/21 今年も日立市日中友好協会主催により春節祭を祝う会が日立市民会館で開催されました。参加者は100人以上。立食で餃子、寿司ほか飲食物も多数用意されていました。中国人留学生の司会で進行し、森秀男会長の挨拶、茨大工学部留学生会長馮(ヒョウ)さんの挨拶、日立市長他来賓の方々の挨拶に続き横田国際交流協議会会長の音頭で乾杯しました。モンゴル舞踊が披露され、恒例の留学生のカラオケや抽選会、じゃんけん大会で盛り上がりました。長年の活動に改めて頭が下がります。

#### ◆第30回さくら講演会参加

3/4 日立シビックセンターにて開催された「太陽の国メキシコの今昔」と題する講演会に参加。講師は筑波大学大学院生のロドリゲス ゴメス ファン パプロさん。聴講者多数でギター演奏もあり、興味深い話が聞けました。